

- 経理上手くんα Pro II 【学校法人】VERSION:11.002
- 経理上手くんαクラウド Pro II 【学校法人】・経理上手くんαクラウド SE Pro II 【学校法人】
VERSION:11.002

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1・10 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 令和 8 年 6 月 2 日付け『学校法人 db における基本金明細書に関するご案内』についての修正

➤ 決算／附属明細書

各基本金間の振り替えがある場合の「第〇号基本金から振替」の表示について

期首が令和 7 年 4 月 1 日以後の新会計基準マスターにおいて、基本金明細書の各基本金間の振り替えがある場合、「第〇号基本金から振替」を「当期組入対象額」の計（「当期取崩対象額」の計）に含めないため、文部科学省通知の記載例では「前期繰越高」と「当期組入対象額」の間に記載されていますが、記載例どおりの入力が行えなかったため、修正しました。

◆ 決算

➤ 決算書

- ① 合併マスターにおいて、[F6 項目登録]の活動区分資金収支の注記タブで入力を行った金額が、出力時に反映されていなかったのを修正しました。
- ② 合併マスターにおいて、[F6 項目登録]の活動区分資金収支の注記タブの「データ抽出 (F11)」ボタンを非表示にしました。

➤ 附属明細書

- ① 期首が令和 7 年 4 月 1 日以後の新会計基準マスターにおいて、基本金明細書を[F6 項目登録]の「帳票の形式：行詰めする」に設定して出力した際、一部が正しく表示されない不具合を修正しました。

◆ その他の修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“学校法人 db (VERSION: 11.002) の変更点”を参照してください。

ご注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

学校法人 d b (VERSION:11.002) の変更点

修正

I. 決算

1) 令和 8 年 6 月 2 日付け『学校法人 db における基本金明細書に関するご案内』についての修正

各基本金間の振り替えがある場合の「第〇号基本金から振替」の表示について

- ①期首が令和 7 年 4 月 1 日以後の新会計基準マスターにおいて、基本金明細書の各基本金間の振り替えがある場合、「第〇号基本金から振替」を「当期組入対象額」の計（「当期取崩対象額」の計）に含めないため、下記の記載例では「前期繰越高」と「当期組入対象額」の間に記載されていますが、記載例どおりの入力が行えなかったため、修正しました。

別添 3

基本金明細書の記載例（第 42 条第 1 項第 3 号、第 7 号様式関係）

(単位 円)

事 項	要組入高	組入高	未組入高	摘要
第 1 号 基 本 金				
前期繰越高	14,000,000,000	11,500,000,000	2,500,000,000	
第 2 号基本金から振替	800,000,000	800,000,000		
当期組入対象額				
1. 土 地	600,000,000	350,000,000	250,000,000	
2. 建 物	400,000,000	250,000,000	150,000,000	
過年度未組入に係る当期組入れ		30,000,000	△ 30,000,000	
3. 教育研究用機器備品	20,000,000	20,000,000		
計	1,020,000,000	650,000,000	370,000,000	
当期取崩対象額				
1. 建 物	△ 250,000,000	△ 250,000,000		
2. 教育研究用機器備品	△ 10,000,000	△ 10,000,000		
計	△ 260,000,000	△ 260,000,000	0	
当期組入額	760,000,000	390,000,000	370,000,000	
当期末残高	15,560,000,000	12,690,000,000	2,870,000,000	
第 2 号 基 本 金				
前期繰越高	—	1,200,000,000	—	
第 1 号基本金へ振替	—	△ 800,000,000	—	
当期組入対象額				
○講堂改築資金	—	120,000,000	—	
○学部校舎改築資金	—	80,000,000	—	
計	—	200,000,000	—	
当期取崩対象額				
△△整備計画廃止に伴う取崩し	—	△ 300,000,000	—	
計	—	△ 300,000,000	—	

<出典>

文部科学省：令和 7 年 3 月 27 日_【通知】6 高私参第 27 号

「学校法人会計基準の一部改正に伴う計算書類の作成等について」

https://www.mext.go.jp/content/20250526-mxt_sigsanji-000038973_15.pdf

《現象詳細》

- ・上記記載例通りの入力を行うために、「前期繰越高」と「当期組入対象額」の間で[Ins 項目挿入]を行った場合、区分が「タイトル」に固定となっており、金額の入力が行えませんでした。

NO	区分	事項	要組入高	組入高
1	タイトル	第 1 号 基 本 金		
2	集 計	前期繰越高		
* 3	タイトル			
4	タイトル	当期組入対象額		
* 5	計	計		
6	タイトル	当期取崩対象額		
* 7	計	計		
8	組入/取崩	当期組入額 (又は当期取崩額)		
9	集 計	当期末残高		

《対応内容》

- (1) 「前期繰越高」と「当期組入対象額」の間で[Ins 項目挿入]を行った場合、区分の選択を「タイトル」または「入力」から選択可能となるように対応しました。

「入力」を選択することで、金額の入力が可能となり、記載例どおりの入力が行えます。

NO	区分	事項	要組入高	組入高
1	タイトル	第 1 号 基 本 金		
2	集 計	前期繰越高		
* 3	入 力	第〇号基本金からの振替		
4	タイトル	当期組入対象額		
* 5	入 力	土 地		

(2)追加した行の金額集計方法について

- ・現状の各基本金の動作と同様に、第1号基本金と第4号基本金では「要組入高」と「組入高」、第2号基本金と第3号基本金では「組入高」に金額を入力することが可能となっています。
 - ・要組入高に入力した金額は、要組入高の当期末残高に加算されます。
 - ・組入高の当期末残高は手入力またはデータ抽出で財務データから金額の抽出を行うため、組入高に入力した金額は、組入高の当期末残高などに集計はされません。
- ただし、出力や業務終了時に、入力画面上の「前期繰越高」+「第〇号基本金から振替」+「当期組入額（または当期取崩額）」の金額と当期末残高の金額が一致しているかの判定に使用します。

※金額が一致していなければ従来通り下記のメッセージを表示します。

基本金明細書

・第1号基本金 差額 -3,000,000円

上記科目の組入高において入力金額と残高が一致しません。
処理を続行してもよろしいですか？

2) 決算書

- ①合併マスターにおいて、[F6 項目登録]の活動区分資金収支の注記タブで入力を行った金額が、出力時に反映されていなかったのを修正しました。

<現象例>

科目	当期末 計算書付正額	前期末 による前金収支	当期末 による前金収支	当期末 による前金収支
総資産 収入	0	300,000	0	0
前期繰越高収入	0	0	0	0
当期末 未収入金	0	0	0	0
当期末 前入金	0	0	0	0
収入計	0	300,000	0	0
手形簿換算収入	0	0	0	0
当期末未払金支払支出	0	0	0	0
当期末未払金支払	0	0	0	0
当期末 未払金	0	0	0	0
当期末 前払金	0	0	0	0
当期末 手形簿換	0	0	0	0
支出計	0	0	0	0
収入計-支出計	0	300,000	0	0

<修正前>

科目	金額
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	1,000,000
手 続 別 寄 付 金 収 入	0
特 別 寄 付 金 収 入	0
一 般 寄 付 金 収 入	0
経 常 費 等 補 助 金 収 入	0
付 随 事 業 収 入	0
雑 収 入	0
教 育 活 動 資 金 収 入 計	1,000,000
人 件 費 支 出	0
教 育 研 究 経 費 支 出	0
管 理 経 費 支 出	0
教 育 活 動 資 金 支 出 計	0
差 引	1,000,000
調 整 勘 定 等	0
教 育 活 動 資 金 収 支 差 額	1,000,000

<修正後>

科目	金額
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	1,000,000
手 続 別 寄 付 金 収 入	0
特 別 寄 付 金 収 入	0
一 般 寄 付 金 収 入	0
経 常 費 等 補 助 金 収 入	0
付 随 事 業 収 入	0
雑 収 入	0
教 育 活 動 資 金 収 入 計	1,000,000
人 件 費 支 出	0
教 育 研 究 経 費 支 出	0
管 理 経 費 支 出	0
教 育 活 動 資 金 支 出 計	0
差 引	1,000,000
調 整 勘 定 等	300,000
教 育 活 動 資 金 収 支 差 額	1,300,000

- ②合併マスターにおいて、[F6 項目登録]の活動区分資金収支の注記タブの「データ抽出（F11）」ボタンを非表示にしました。
- 合併マスターは仕訳データがないため、「データ抽出（F11）」ボタンを選択すると、すべて0円となるため、上記の対応を行いました。

3) 附属明細書

- ①期首が令和7年4月1日以後の新会計基準マスターにおいて、基本金明細書を[F6 項目登録]の「帳票の形式：行詰めする」に設定して出力した際、一部が正しく表示されない不具合を修正しました。

《対応内容》

- (1)第1号基本金にて、区分：科目の行にのみ金額の入力がある場合、合計行の当期組入額（または当期取崩額）が表示されなかったのを修正しました。

<現象例>

NO	区分	事項	要組入高	組入高	未組入高
1	タイトル	第1号基本金			
2	集計	前期繰越高	10,000	10,000	0
3	タイトル	当期組入対象額			
4	科目	土地	10,000	10,000	0
5	計	計	10,000	10,000	0
6	タイトル	当期取崩対象額			
7	計	計			0
8	組入/取崩	当期組入額（又は当期取崩額）	10,000	10,000	0
9	集計	当期末残高	20,000	20,000	0

<修正前>

事項	要組入高	組入高
第1号基本金		
前期繰越高	10,000	10,000
当期組入対象額		
土地	10,000	10,000
計	10,000	10,000
当期組入額	10,000	10,000
当期末残高	20,000	20,000
合計		
前期繰越高	—	10,000
当期末残高	—	20,000

<修正後>

事項	要組入高	組入高
第1号基本金		
前期繰越高	10,000	10,000
当期組入対象額		
土地	10,000	10,000
計	10,000	10,000
当期組入額	10,000	10,000
当期末残高	20,000	20,000
合計		
前期繰越高	—	10,000
当期組入額	—	10,000
当期末残高	—	20,000

- (2)第1号基本金にて、当期組入対象額（または当期取崩対象額）の計の下に、区分：科目の行のみ作成していた場合、計の下に作成した区分：科目の行が表示されなかったのを修正しました。

<現象例>

NO	区分	事項	要組入高	組入高	未組入高
1	タイトル	第1号基本金			
2	集計	前期繰越高	10,000	10,000	0
3	タイトル	当期組入対象額			
4	計	計			0
5	科目	土地	10,000	10,000	0
6	タイトル	当期取崩対象額			
7	計	計			0
8	組入/取崩	当期組入額（又は当期取崩額）	10,000	10,000	0
9	集計	当期末残高	20,000	20,000	0

<修正前>

事項	要組入高	組入高
第1号基本金		
前期繰越高	10,000	10,000
当期組入対象額	10,000	10,000
当期末残高	20,000	20,000
合計		
前期繰越高	—	10,000
当期末残高	—	20,000

<修正後>

事項	要組入高	組入高
第1号基本金		
前期繰越高	10,000	10,000
当期組入対象額		
土地	10,000	10,000
当期組入額	10,000	10,000
当期末残高	20,000	20,000
合計		
前期繰越高	—	10,000
当期組入額	—	10,000
当期末残高	—	20,000

(3)合計行の当期組入額がマイナスの金額（または当期取崩額がプラスの金額）の場合に、金額が表示されなかったのを修正しました。

また、合計行の金額に応じて下記のように表示名称を変更するように対応しました。

- ・組入額にマイナスの金額を入力した場合
→組入額に入力していますが、最終的には当期取崩額となるため、合計行には当期取崩額を出力します。
- ・取崩額にプラスの金額を入力した場合
→取崩額に入力していますが、最終的には当期組入額となるため、合計行には当期組入額を出力します。
- ・いずれかの基本金に明細があり、合計の組入額/取崩額が 0 の場合
→合計行には当期組入額のみを出力します。

<現象例>

NO	区分	事項	要組入高	組入高	未組入高
1	タイトル	第 1 号 基本金			
2	集 計	前期繰越高	50,000	50,000	0
3	タイトル	当期組入対象額			
4	入 力	土 地	-10,000	-10,000	0
5	計	計	-10,000	-10,000	0
6	タイトル	当期取崩対象額			
7	計	計			0
8	組入/取崩	当期組入額 (又は当期取崩額)	-10,000	-10,000	0
9	集 計	当期末残高	40,000	40,000	0

<修正前>

事 項	要 組 入 高	組 入 高
第 1 号 基本金		
前期繰越高	50,000	50,000
当期組入対象額		
土 地	△10,000	△10,000
計	△10,000	△10,000
当期取崩額	△10,000	△10,000
当期末残高	40,000	40,000
合 計		
前期繰越高	—	50,000
当期組入額	—	0
当期末残高	—	40,000

<修正後>

事 項	要 組 入 高	組 入 高
第 1 号 基本金		
前期繰越高	50,000	50,000
当期組入対象額		
土 地	△10,000	△10,000
計	△10,000	△10,000
当期取崩額	△10,000	△10,000
当期末残高	40,000	40,000
合 計		
前期繰越高	—	50,000
当期取崩額	—	△10,000
当期末残高	—	40,000

(4)区分：組入／取崩の行の金額が 0 の場合、当期組入額の行が表示されなかったのを修正しました。

<現象例>

NO	区分	事項	要組入高	組入高	未組入高
1	タイトル	第 1 号 基本金			
2	集 計	前期繰越高	50,000	50,000	0
3	タイトル	当期組入対象額			
4	入 力	土 地	100,000	100,000	0
5	計	計	100,000	100,000	0
6	タイトル	当期取崩対象額			
7	入 力	建 物	-100,000	-100,000	0
8	計	計	-100,000	-100,000	0
9	組入/取崩	当期組入額 (又は当期取崩額)			0
10	集 計	当期末残高	50,000	50,000	0

<修正前>

事 項	要 組 入 高	組 入 高
第 1 号 基本金		
前期繰越高	50,000	50,000
当期組入対象額		
土 地	100,000	100,000
計	100,000	100,000
当期取崩対象額		
建 物	△100,000	△100,000
計	△100,000	△100,000
当期末残高	50,000	50,000
合 計		
前期繰越高	—	50,000
当期組入額	—	0
当期取崩額	—	0
当期末残高	—	50,000

<修正後>

事 項	要 組 入 高	組 入 高
第 1 号 基本金		
前期繰越高	50,000	50,000
当期組入対象額		
土 地	100,000	100,000
計	100,000	100,000
当期取崩対象額		
建 物	△100,000	△100,000
計	△100,000	△100,000
当期組入額		0
当期末残高	50,000	50,000
合 計		
前期繰越高	—	50,000
当期組入額	—	0
当期末残高	—	50,000

以 上